

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
54601	ボランティア実習 Volunteer-Activity Participation	教務委員	専門	1	選択	***
科目の概要						
この科目は、福祉・保育関連のボランティア活動に関する体験学習などに対して、単位を与えるものです。それぞれが担当教員の指導のもとに一定の実績をあげたときに認定されます。したがって特にテキスト等は設定しませんが、適宜その活動についての理解を深める学習は求められます。						
学修内容			到達目標			
①社会貢献としてのボランティア活動を行う。			①見返りを求めず、自ら進んで活動し、社会に貢献できる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自身でボランティア先を選び、ボランティア実習ができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	ボランティアができる日時を考えることができるか。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手に解りやすいコミュニケーションができる。				
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	・自分の都合を優先することなくルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:保育実習、教育実習 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
・社会貢献が大切です。			・ボランティア実習を行なうに当たっては積極的に行なうこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	ボランティア内容のレポートを提出。
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	5	①	✓	(主体性) 自身でボランティア先を選び、ボランティア実習ができる。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 聞き手に解りやすいコミュニケーションができる。 (傾聴力) 人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規則性) 自分の都合を優先することなくルールを守ることができる。
その他	55	①	✓	・ボランティアに参加した場所の日数などの証明。
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
見返りを求めず、自ら進んで活動し、社会に貢献する。	社会に貢献する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
	<p>(1) 体験学習的なボランティア</p> <p>① 単発型の体験学習(行事活動のお手伝いボランティアなど)</p> <p>② 宿泊型の体験学習:(障害児キャンプボランティアなど)</p> <p>③ 定期継続型の体験学習:(障害者の在宅介護、施設介護の補助、地域活動など)</p> <p>(2) 研修会への参加 体験型の研修会への参加は、福祉・保育に関連するボランティア活動に関する内容のものを対象とする。</p> <p>(3) その他広く福祉・保育に関連した活動および業績</p> <p>*. これらの活動については、ボランティアが原則となるので、交通費、食費などの実費以外の給与・報酬などが支払われていない活動を対象とする。</p> <p>担当教員の指導のもとに学習を進めること。体験学習などの現場で指導を仰ぐ場合も、担当教員への報告は必要である。</p>	<p>実習</p>	<p>・下記の方法による45ポイントの学習活動と担当教員の課すレポートの提出を持って単位取得の要件とする。</p> <p>(1) 体験学習的なもの</p> <p>① 単発型の体験学習: 半日で4ポイント、1日で8ポイントとする。(行事活動のお手伝いボランティアなど)</p> <p>② 宿泊型の体験学習: 1泊2日で24ポイントとする。(障害児キャンプボランティアなど)</p> <p>③ 定期継続型の体験学習: 1時間で1ポイントとする。(障害者の在宅介護、施設介護の補助、地域活動など)</p> <p>これらは、かかわった記録を担当教員の指示に従い提出すること。</p> <p>(2) 研修会への参加 体験型の研修会への参加で単位のためのポイントにあてようとするときは、福祉・保育に関連するボランティア活動に関する内容のものを対象とする。詳しくは事前に担当教員に確認をとり、指導を受けること。1時間の研修受講につき2ポイントとする。</p> <p>(3) その他広く福祉・保育に関連した活動および業績 担当教員が上記にあたると判断したものについて認める。</p> <p>ポイント計算については内容によってその都度、担当教員が判断するものとする。</p>	<p>(予習) ボランティアの目的や内容を確認する。</p> <p>(復習) レポートを作成する。</p>	<p>120</p>	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力</p>

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

